

日本都市学会ニュース NO. 55

2023. 3. 25

発行 日本都市学会 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部西野淑美研究室内
 <事務局長> 熊田俊郎 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/
 郵便振替 00130-0-512255 日本都市学会本部事務局

日本都市学会年報 VOL. 55 発行のご案内と 発行遅延のお詫び

日本都市学会年報 VOL.55 は 2023 年 1 月 31 日に発行され、会員各位に送付されました。本号は「ラストベルト産業都市の再生と進化」を特集として、第 68 回大会シンポジウムの内容に加え、査読付き論文 16 編、研究論文 2 編、学会の諸記録などが掲載され、総ページ数約 250 ページになっています。

学会員以外でもご希望の方には 1 冊 3,000 円でお頒けしております。注文は年報担当事務局までお願い申し上げます。

なお本号は、本学会における年報制作体制の不備により、刊行が大幅に遅れることとなり、関係各位には大変ご迷惑をおかけしました。あらためて心からお詫び申し上げます。とりわけ執筆者、査読者、論文審査委員のみなさまには、ご多忙のなか期日をお守りいただきましたのに、このような事態となりお詫びの言葉もございません。

今後、速やかに年報制作体制を再構築し再発防止策を公表いたしますので、みなさまには引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

日本都市学会第 69 回大会を 開催しました

日本都市学会第 69 回大会は、2022 年 10 月 28 日（金）・29 日（土）・30 日（日）に名古屋学院大学名古屋キャンパスで開催されました。

【10 月 28 日（金）】エクスカージョンが 3 コースに分かれて行われ参加者は 25 名でした。

【10 月 29 日（土）】研究報告が計 16 件行われました。その後、日本都市学会浦野正樹会長の開会挨拶と、主催地域都市学会である中部都市学会井澤知且会長の挨拶に続き、ご後援をいただいた名古屋市中田英雄副市長に特別講演、さらに米山秀隆氏（大阪経済法科大学教授）に基調講演「アフターコロナの都市と住まい」を行っていただきました。

これを受け「グローバル社会における都市の脆弱性と"新常态"の模索」と題するパネルディスカッ

ションが行われました。コーディネーターの三井栄氏（岐阜大学教授）の趣旨説明に続き、パネリストの米山秀隆氏（前出）、田中晃代氏（近畿大学教授）、後藤誠一氏（岐阜大学助教）、倉員愛子氏（㈱JTB 営業担当課長）からそれぞれ発言をいただき、ディスカッションが行われました。

次いで、2022 年度の日本都市学会各賞の授賞式が行われ、学会賞（奥井記念賞）受賞者の竹中克行氏、論文賞受賞者の中嶋紀世生氏、特別賞（学国語著作賞）受賞者の久保倫子氏への賞状の授与と、出席した受賞者からのスピーチがありました。

引き続き、日本都市学会 2022 年度総会が開催されました。

【10 月 30 日（日）】研究報告が計 27 件行われました。

主催の中部都市学会の大会事務局には、3 年ぶりとなるリアル会場での大会開催にあたって、名古屋市との調整など準備に尽力いただくとともに、大会当日は名古屋学院大学に本部を設置して運営にあたっていただきました。関係各位には厚く感謝申し上げます。皆さまのご協力のお蔭をもちまして、日本都市学会第 69 回大会を無事に開催することができました。心から感謝申し上げます。

第 70 回大会は小田原市で開催します

第 70 回大会は、2023 年 11 月 4 日（土）・5 日（日）に、小田原市三の丸ホール小ホールとおだわら市民交流センターを会場に開催される予定です。

2022 年度日本都市学会賞等が決まりました

日本都市学会賞（奥井記念賞）

竹中克行氏（中部）『地中海都市一人と都市のコミュニケーション』東京大学出版会、2021 年 3 月発行

選考理由

本書は 10 年以上にわたるスペイン、イタリアにおける丹念な現地調査や文献調査をもとに、地理学の立場から著された研究書である。グローバル化が進展するなかで「地中海都市」が個性を継承・進化させていく様態に着目し、いかにしてそれが可能になったかを、独自のデータを含む多様な根拠を示しながら本書は論理的に明らかにしようとしている。その結果、「地中海都市」の特性を、「社会と空間の弁証法」に手がかりを得た「人と都市のコミュニケーション」という鍵概念から多面的・重層的に捉え、説得的に論じることに成功している。

地理学の専門書である一方で、本書は関連分野の理論を活用し、計画・実践をも視野に入れた学際的な都市研究であることから、地理学以外の都市研究者に示唆を与え、また一般読者に都市研究の魅力を周知することにも貢献している。

以上の意味で、本書は都市に関する独創的な研究であり、かつ、日本の都市研究において画期的な意義を有し、都市研究の新しい分野においてとくに優秀な業績をあげたものである。よって、日本都市学会賞（奥井記念賞）を受賞するに値する。

日本都市学会論文賞

中嶋紀世生氏(東北)
中嶋紀世生・増田聡・中村哲也「地域づくりへの参画とその関心度—宮城県大崎市岩出山地域における住民アンケートからの接近」『日本都市学会年報』第 53 号、137-144、2020 年 5 月発行

選考理由

本論文は、アンケート調査結果を用いる確立した研究手法によって、住民の意識や関心度から持続性の高い地域づくりを構造的に分析し、住民が感覚的に感じている地域の状況を数値的に示すことで、まちづくりを担う人々の世代間ギャップや後継者問題の見える化をはかることに成功している。そして、具体的には、長年地域に住んでいる者よりも、日中は地域内にいない住民や外部から移り住んできたの方が地域づくりに関心があること、若い住民は地域づくりに無関心というよりも、活動の存在を知らない場合が多いに過ぎないことなどを明らかにするとともに、それらの住民が地域づくりに参画できるような工夫の必要性を指摘している。以上、本論文の内容は、地域づくりに関する他の都市研究に対しても多くの示唆を与えるものであり、都市研究の分野においてとくに優秀な業績と認められる。

日本都市学会特別賞（外国語著作賞）

久保倫子氏(中部) *Divided Tokyo: Disparities in Living Conditions in the City Center and the Shrinking Suburbs*, Springer, 2020

選考理由

本書は 20 世紀後半以降の東京大都市圏における都市分断構造の形成を居住環境の不均等の拡大プロセスに焦点をあて、理論的・実証的に検討を加え、さらに、分断された東京とそれに関わる諸問題への可能な解決策を縮退受容論(shrinkage-acceptance initiatives)の考え方を軸に、欧米の既存の対応案(対応策)に関する文献をレビューし、それらの日本の都市への適用について論じたものである。

全体の趣旨は明快であり、世界的な都市研究の研究テーマである「分断」の問題をとりあげ、従来のエスニシティや社会階層の偏在やコンフリクトの発生などに注目するのではなく、特に、居住環境の不均等の拡大に注目して、東京大都市圏の都市分断について、実証的な分析を試みている点に本書の独創性を認めることができる。また、本書は英語によって、日本の都市、特に東京大都市圏の都市分断、都市縮退の実態を広く諸外国に発信し、世界の都市分断、都市縮退の研究の進展に貢献するという大きな意義をもつものである。

ただ、若干の課題として、著者独自の都市分断、都市縮退に対しての対応案(対応策)の提示がやや弱い点を指摘しておきたい。それによって、本書の独創性はより高いものとなった可能性があるが、それは今後の研究の展開に期待したい。

以上の点から、本書は、日本都市学会特別賞(外国語著作賞)に値するものと評価する。

なお、日本都市学会特別賞(学術共同研究賞)と同(まちづくり賞)の該当はありませんでした。

日本都市学会 2022 年度総会報告

2022 年度日本都市学会総会は、2022 年 10 月 29 日(土) 17:10 から名古屋学院大学で開催されました。中部都市学会井澤知且会長を議長に選出して、以下の 7 議案が審議されました。その結果、いずれも原案どおり議決されました。また引き続いて、3 件の報告がなされ、いずれも承認されました。総会の参加者は 62 名でした。

以下、議事録を再録します。

議案 1 2021 年度事業報告**(1) 日本都市学会第 68 回大会の開催**

開催日時 2021 年 10 月 23 日(土)~10 月 24 日(日)

開催学会 近畿都市学会
 開催会場 近畿大学東大阪キャンパス(オンライン)
 開催テーマ「ラストベルト産業都市の再生と進化」
 新型コロナウイルス対策のため、オンライン大会で
 開催されました。

(2) 日本都市学会年報の発行

VOL.54「新型コロナ感染状況下に生きる」
 (2021年5月発行)

(3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定

2021年4月 推薦等締め切り
 2021年9月 選考委員会開催、同日第2回理事
 会において決定
 2021年10月23日 大会において授賞式

(5) 日本都市学会総会の開催

2021年10月23日(土) オンラインで開催され
 ました。8議案が審議され原案どおり議決されまし
 た。

(6) 理事会の開催

第1回理事会(2021年7月4日)
 2020年度事業報告・決算案、2021年度事業計
 画・予算案、第68・69回大会予定、各事務局か
 らの報告他

第2回理事会(2021年9月26日)
 2021年度学会賞・論文賞等の決定、第68回大
 会予定、各事務局からの報告他

第3回理事会(2020年10月22日)
 総会提出議案の決定、第68回大会直前確認事項、
 第69回大会予定、各事務局からの報告他

第4回理事会(2022年3月28日)
 2021年度事業報告・決算見込、2022年度事業計
 画・予算案、第68回大会報告、第69回大会に
 ついて、各事務局からの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページ のメンテナンス

日本都市学会ニュース No.52 2021年8月4日
 日本都市学会ニュース No.53 2021年3月20日

議案2 2021年度決算

(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

収入の部(2021年度) (円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	1,900,000	1,751,000
学会会費(過年度分)	0	20,400
年報売上高	630,000	464,500
雑収入	70,000	112,253
前年度繰越金	2,164,681	2,164,681
計	4,764,681	4,512,834

支出の部(2021年度) (円)

科目	予算	決算
大会関係費	500,000	0
理事会・常任理事会関係費	700,000	0
論文審査委員会関係費	50,000	0
年報関係費	1,250,000	1,023,427
(VOL.54)	(1,150,000)	(953,427)
(VOL.55)	(100,000)	(70,000)
学会賞関係費	100,000	44,643
事務局経費	500,000	420,883
備品費	10,000	0
雑費	60,000	0
予備費	1,594,681	0
次年度繰越	0	3,023,881
計	4,764,681	4,512,834

正味資産の部

資産(2022年3月31日現在残高)

郵便振替口座	¥ 1,356,682
三菱東京UFJ銀行奈良支店	¥ 1,667,199
手持ち現金	¥ 0
計	¥ 3,023,881

負債 なし

議案3 2022年度事業計画

(1) 日本都市学会第69回大会の開催

開催日時 2022年10月28日(金)~30日(日)
 開催学会 日本都市学会・中部都市学会
 後援 名古屋市
 テーマ「グローバル社会における都市の脆弱性と
 “新常态”の模索」

(2) 日本都市学会年報の発行

VOL.55「ラストベルト産業都市の再生と進化」
 (2022年5月発行)

(3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定

2022年3月 外国語著作賞推薦等締め切り
 2022年4月 奥井賞、特別賞(学術共同賞)、特
 別賞(まちづくり賞) 推薦等締め切り
 2022年9月 選考委員会開催、同日第2回理事
 会において決定
 2022年10月29日(土) 大会において授賞式

(5) 日本都市学会総会の開催

2022年10月29日(土)

(6) 理事会および常任理事会の開催

第1回理事会(2022年6月)
 2021年度事業報告・決算案、2022年度事業計
 画・予算案、第69・70回大会予定、各事務局か
 らの報告他

第2回理事会(2022年9月)

2022 年度学会賞・論文賞等の決定、第 69 回大会予定、各事務局からの報告他

第 3 回理事会 (2022 年 10 月)

総会提出議案の決定、第 69 回大会直前確認事項、第 70 回大会予定、各事務局からの報告他

第 4 回理事会 (2023 年 3 月)

2022 年度事業報告・決算見込み、2023 年度事業計画・予算案等、第 69 回大会報告、第 70 回大会予定、各事務局からの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュース No.54 2022 年 7 月

日本都市学会ニュース No.55 2022 年 12 月

議案 4 2022 年度予算

(自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

収入の部

科目	2021 年度	2022 年度
学会会費(当該年度分)	1,900,000	1,802,000
学会会費(過年度分)	0	0
年報売上高	630,000	500,000
雑収入	70,000	90,000
前年度繰越金	2,164,681	3,023,881
計	4,764,681	5,415,881

支出の部

科目	2021 年度	2022 年度
大会関係費	500,000	500,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	700,000
論文審査委員会関係費	50,000	50,000
年報関係費	1,250,000	1,250,000
(VOL.55)	(1,150,000)	(1,150,000)
(VOL.56)	(100,000)	(100,000)
学会賞関係費	100,000	100,000
事務局経費	500,000	500,000
備品費	10,000	10,000
雑費	60,000	60,000
予備費	1,594,681	2,245,881
計	4,764,681	5,415,881

議案 5 会長の承認

2023・2024 年度会長として山崎健氏が承認されました。

議案 6 監事の承認

2023・2024 年度監事として松山明氏(中部)、野々山和宏氏(東北)が承認されました。

議案 7 理事の承認

2023・2024 年度理事として以下の各氏が承認されました。

(1) 支部会長理事

松村茂(東北)、大矢根淳(関東)、井澤知且(中部)、平篤志(中四国)、外井哲志(九州)

(2) 支部選出理事

増田聡(東北)、熊田俊郎(関東)、西野淑美(関東)、磯部友彦(中部)、石田信博(近畿)、佐藤彰男(近畿)、川瀬正樹(中四国)、山下宗利(九州)

(3) 会務担当理事

森傑(北海道)、齊藤綾美(東北)、土居洋平(関東)、平井太郎(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川田力(中四国)、石川雄一(九州)

ただし以上は総会時点のものであり、今後各支部で変更があった場合には速やかに交替し次の総会で承認を得ること、近畿の支部会長理事は 4 月以降に後任が決定次第補充されるとの説明がなされました。

報告 1 学会賞等について (省略)

報告 2 日本都市学会第 70 回大会について (省略) ※本紙関連記事参照

報告 3 日本都市学会会員数の状況

日本都市学会 地域都市学会別会員数の推移

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
北海道	7	8	9	9	8	7
東北	82	66	65	60	58	56
関東	148	149	141	134	130	124
中部	91	92	90	86	84	80
近畿	160	153	149	137	132	117
中四国	42	43	43	47	45	46
九州	67	61	67	63	63	64
本部	1	1	1	1	1	0
合計	579	573	565	537	521	494

2022 年度第 2 回理事会報告

2022 年度第 2 回理事会は、2022 年 9 月 18 日(日) 13 時 30 分から Zoom によるオンライン会議で開催されました。

出席者は、浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、磯部友彦、佐藤彰男、山崎健、平篤志、川瀬正樹、山下宗利、森傑、齊藤綾美、土居洋平、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一の各理事です。

議事の概要は以下のとおりです。

議題 1 2021 年度事業報告、決算

2021 年度事業報告案および同決算報告案について会計監査が終了した後 10 月の理事会で承認を行うことになりました。

議題 2 2022 年度事業計画、予算

2022 年度事業計画・予算はすでに理事会承認済みなので、10 月理事会で総会資料として確認することとなりました。

議題 3 学会賞事務局関係

各学会賞選考委員会からの推薦に基づき、2022 年度日本都市学会賞(奥井記念賞)として、竹中克行氏(『地中海都市一人と都市のコミュニケーション』東京大学出版会、2021.3)、日本都市学会論文賞として、中嶋紀世生氏(中嶋紀世生・増田聡・中村哲也「地域づくりへの参画とその関心度—宮城県大崎市岩出山地域における住民アンケートからの接近」(『日本都市学会年報』第 53 号、2020.5。)、日本都市学会特別賞(外国語著作賞)として、久保倫子氏(*Divided Tokyo: Disparities in Living Conditions in the City Center and the Shrinking Suburbs*, Springer, 2020) を決定しました。

議題 4 年報事務局報告

年報 55 号の発刊予定と 56 号の編集方針について報告がありました。

議題 5 論文審査事務局報告

2022~2023 年度の論文審査委員が決まったことが報告されました。また審査日程について報告がありました。

議題 6 第 69 回大会について

中部都市学会から、第 69 回大会について説明がありました。また懇親会開催の有無について 10 月上旬には結論を出して通知することなどが報告されました。

議題 7 第 70 回大会について

関東都市学会から、2023 年の第 70 回大会(小田原市)の概要について説明がありました。

議題 8 会長候補者の選考

理事による会長候補者選挙を 2022 年 8 月 22 日発送、8 月 31 日締切りの郵便投票で行った結果、山崎健会員(近畿)が第 1 回投票で過半数の票を得たことから、同会員を 2023-24 年度日本都市学会会長候補者として本年度総会に提案することとしました。

議題 9 監事の選考について

これまでの慣例から、1 期目の任期中である松山明監事(中部)に再任をお願いし、もう 1 名を東北都市学会から推薦していただき、総会に提案することとなりました。

議題 10 その他

(1)本日の出欠状況について報告がありました。
(2)次回理事会は名古屋での対面の理事会になること、論文投稿期限について規程との関係を再検討し、年度内に調整して理事会に諮ることの報告がなされました。

(3)国立国会図書館から大会発表要旨集の過去分を収集したいとの連絡があったことが報告されました。

2022 年度第 3 回理事会報告

2022 年度第 3 回理事会は、2022 年 10 月 28 日(金) 18 時から名古屋金山ホテルで開催されました。出席者は、浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、井澤知旦、磯部友彦、佐藤彰男、山崎健、川瀬正樹、森傑、土居洋平、大塚俊幸、佐野光彦、川田力、石川雄一各理事、松山明、吉本勇各監事でした。

議事の概要は以下のとおりです。

議題 1 総会議題確認

総会議題確認に先立ち、2021 年度決算および監事候補者の承認を行ない、2022 年度総会議題が承認されました。また慣例により、総会議長として大会開催地の井澤知旦中部都市学会会長が担当することとなりました。

議題 2 年報事務局報告

「グローバル社会における都市の脆弱性と”新常態”の模索」をテーマに次号の編集を開始すること、年報第 55 号は本年 11 月下旬には発送の見通しとの報告がありました。

議題 3 論文審査事務局報告

論文審査委員会の委員長・副委員長の決定に関する報告がありました。

議題 4 学会賞事務局関係

学会賞関係の今後のスケジュール等の報告がありました。

議題 5 第 69 回大会について

中部都市学会から、大会の準備状況について報告がありました。あわせて参加申し込みは 93 名、発表件数 43 件であるとの報告がありました。また司会の変更等を承認しました。

議題 6 第 70 回大会について

関東都市学会から、来年の第 70 回大会の準備状況について報告がありました。

議題 7 本部事務局より

本日理事会の出欠状況について報告がありました。

**日本都市学会役員
(2023. 3. 25 現在)**

会長 浦野正樹

理事 増田聡(東北)、松村茂(東北)、熊田俊郎(関東)、大矢根淳(関東)、西野淑美(関東)、井澤知且(中部)、磯部友彦(中部)、山崎健(近畿)、石田信博(近畿)、佐藤彰男(近畿)、平篤志(中四国)、川瀬正樹(中四国)、外井哲志(九州)、山下宗利(九州)

会務担当理事 森傑(北海道)、齊藤綾美(東北)、土居洋平(関東)、平井太郎(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川田力(中四国)、石川雄一(九州)

監事 松山明(中部)、吉本勇(中四国)

2023 年度学会賞等を募集しています

2023 年度の日本都市学会賞（奥井記念賞）および日本都市学会特別賞（学術共同研究賞、まちづくり賞）の募集が始まっています。学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼が送られていますので、各地域都市学会では、現物 7 部（献本）および推薦理由を添えて所定の期日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。なお、7 部の献本が困難な場合、2 部以上の献本、残りは借用でお願いいたします。

6 月から選考委員の選考作業が開始され、9 月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において授賞が決定されます。

分担事務局

■本部事務局（関東都市学会）

〒112-8606 文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部 西野淑美研究室内
事務局長：熊田俊郎 e-mail : info@toshigaku.org

■年報担当事務局（近畿都市学会）

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 佐野光彦研究室内 TEL&FAX : 078-974-1868
e-mail : micco.sano@gmail.com

■学会賞担当事務局（東北都市学会）

2023 年 3 月 31 日まで
〒981-8551 仙台市青葉区国見 6-45-1 東北文化学園大学現代社会学部 齊藤綾美研究室内 TEL : 022-233-6096
e-mail : tohoku.toshi@gmail.com

2023 年 4 月 1 日から

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C

近畿大学総合社会学部 松本行真研究室内
06-6721-2332 (内線 3262)
e-mail matsu@socio.kindai.ac.jp

■論文審査担当事務局（中四国都市学会）

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
岡山大学大学院教育学研究科 川田力研究室内
TEL : 086-251-7617
e-mail : tkawada@okayama-u.ac.jp

地域都市学会事務局

◎北海道都市地域学会 〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1 札幌大学 平井貴幸研究室内 TEL : 011-852-1181
e-mail : hirai@sapporo-u.ac.jp

◎東北都市学会

2023 年 3 月 31 日まで

〒981-8551 仙台市青葉区国見 6-45-1 東北文化学園大学現代社会学部 齊藤綾美研究室内 TEL : 022-233-6096
e-mail : tohoku.toshi@gmail.com

2023 年 4 月 1 日から

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C
近畿大学総合社会学部 松本行真研究室内
06-6721-2332 (内線 3262)
e-mail matsu@socio.kindai.ac.jp

◎関東都市学会 〒236-8502 横浜市金沢区釜利谷南 3-22-1 関東学院大学社会学部 小山弘美研究室内 TEL : 045-786-9369

e-mail : info@kanto-toshigakkai.com

◎中部都市学会 〒487-8501 春日井市松本町

1200 番地 中部大学人文学部 大塚俊幸研究室内
TEL : 0568-51-9107 / FAX : 0568-52-0622
e-mail : chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

◎近畿都市学会 〒577-8502 東大阪市小若江 3-

4-1 近畿大学総合社会学部 久隆浩研究室内
e-mail : info@kintoshi.org

◎中四国都市学会 〒700-8530 岡山市津島中 3-

1-1 岡山大学教育学部 川田力研究室内
TEL : 086-251-7617
e-mail : tkawada@okayama-u.ac.jp

◎九州都市学会 〒840-8502 佐賀市本庄町 1

佐賀大学芸術地域デザイン学部 山下・有馬・山口研究室気付 TEL : 0952-28-8577
e-mail : ktoshigaku@gmail.com